

基本目標 3：誰もが健康で心豊かに暮らすことのできるまち

1. 多様なニーズに対応した居場所づくり

【施策の方向性】

地域住民が気軽に集まり、多世代が交流できる居場所づくりが必要です。多様な人のニーズに個別に対応した居場所、また、それぞれが役割を持ち、輝くことのできる居場所づくりを進めます。

【現状と課題】

- お互い様づくり行動計画に基づいて、自宅型サロンが11箇所（うち1箇所は解散）、拠点型サロンは3箇所（北野、鷹栖、北斗）が設立され、地域住民が気軽に集う場所として機能している一方で、既存のサロンだけでは充足しきれない新たな課題が出てきています。
- 私たちを取り巻く社会情勢が激しく変化する中で、様々な要因で引きこもりがちになってしまい、社会的孤立状態にいる方が顕在化しています。
- 人口減少と高齢化による地域の衰退が懸念されていますが、高齢者の中には自身の体力や余暇に合わせて働き続けること、地域のために活動することを希望している人もいます。



【取り組み方針】

(1) 住民の「やりたい」という思いを叶える環境づくり

地域づくりを推進するためには地域住民の力が必要です。持続した地域づくりを行うためには、住民自らの「やりたい」という思いが重要となり、その思いを叶えられる環境を目指します。

(2) 多様なニーズに対応した就労マッチングの仕組みづくり

核家族化や社会情勢の変化により、働き方のニーズは多様化しています。個々のライフスタイルに合わせた働き方に対応できるよう、町内における仕事の切り出しや、人材を求めている事業所とのマッチングできる仕組みづくりを進めます。

(3) サロンを中心とした集える居場所づくりの推進

住民が気軽に集えることのできる現在のサロンを中心とした活動の推進を継続するとともに、中高生や引きこもりがちな方など、特定のテーマに特化した居場所づくりも進めます。

2. 身体と心が豊かになる健康づくりの推進

【施策の方向性】

人間が「幸せ」に人生を過ごすためには、身体と心が健康であることが大前提であることから、「自らの健康は自らの手で守る！」を合言葉に運動の習慣化や人との交流による“こころ”の健康づくりを推進します。

【現状と課題】

- 国立長寿医療研究センターの研究によると、配偶者がいる、友人との交流がある、地域のグループ活動に参加しているなど、社会と多様なつながりがあるほど認知症の発症リスクが低下する結果が出ています。
- 鷹栖町では全国と比較して、BMI、腹囲の有所見者が多い傾向にあり内臓脂肪の蓄積によるものであることが推察され、糖尿病等の生活習慣病や脳血管疾患などの発症リスクが高くなる傾向が見られます。
- 国民健康保険被保険者のうち、55.3%が特定健康診査を受診し、健診・医療ともに未受診の割合は約17%ですが、働き世代である40～64歳の受診率は47.2%と低めであり、健診・医療ともに未受診の割合は約25%と高く、健康に対する意識が希薄となっていると推測されます。

【取り組み方針】

(1) 運動と健康がリンクした健康づくりの機会創出

身体的機能を維持し、生活習慣病を予防するために、魅力がある運動機会の創出が必要です。「運動」や「食」が身体に与える影響について見える化を図り、健康づくりに対する周知啓発を推進します。

(2) データとICTを活用した保健指導の推進

住民の健康に関するデータを一元管理するとともに、ICTを活用し、データ分析や情報の見える化を図り、根拠に基づいた効果的な保健指導の実施を目指します。

(3) 健康無関心層に対する健康意識の醸成

若年期からの健康に対する意識付けを行うために、健康づくりのために健診受診や運動することが、自分にとってメリットがあることだと感じられるようなきっかけ作りに取り組みます。

(4) 人と人との交流による“こころ”の健康づくり促進

サロンや趣味・サークル活動、地域活動の中で人と交流し、社会参加することにより認知症予防や孤立予防につながることから、個人のニーズに合わせた社会参加の促進を図ります。

3. あらゆる人が役割を持ち暮らせる環境づくり

【施策の方向性】

鷹栖町に住むすべての人が、役割を持ち、生きがいを感じながら暮らし続けることができるよう、多様な主体が活躍できる地域づくりを目指します。

【現状と課題】

- お互い様づくり行動計画に基づく取り組みの中で、社会福祉協議会が主体となり、それぞれの強みを活かしたサポーター制度が創設され、地域住民の身近な支え手として活躍できる仕組みが構築されました。
- 人生100年時代の中で、高齢になっても社会的役割をもっていきいきと活躍できる環境が求められていますが、希望する環境やきっかけが少ないため、その能力を十分に発揮できていない人が地域に埋もれています。
- アンケート調査では、今まで地域活動をしたことがないと回答した人のうち、地域活動に関心があるが活動していない理由を聞いたところ、42.3%が「きっかけがない」と回答しています。

【取り組み方針】

(1) 誰もが自分の強みを生かして活躍できる地域の実現

人はそれぞれ得意なことを持っており、その「強み」を最大限に活用できるよう、あらゆる地域資源をつなげ、または創出し、あらゆる人が活躍できる地域の実現を目指します。

(2) 地域の人々が活躍するための活動に対する支援の強化

鷹栖町に住む人が自身の強みを活かして活躍するために、人と人、人と場所のつなぎ役、きっかけ作り役である社会福祉協議会や地域づくりを担う団体等への支援を強化します。

